

食品安全情報（微生物） No.8 / 2025（2025.04.16）

国立医薬品食品衛生研究所 安全情報部

(<https://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/index.html>)

目次

[【米国疾病予防管理センター（US CDC）】](#)

1. 小規模飼育の家禽類との接触に関連して複数州にわたり発生したサルモネラ（*Salmonella* Altona、*S. Cerro*、*S. Enteritidis*、*S. Indiana*、*S. Infantis*、*S. Johannesburg*、*S. Mbandaka*、*S. Typhimurium*）感染アウトブレイク（2024年10月22日付最終更新）
2. デリカOUNTERで薄切りされた食肉製品に関連して複数州にわたり発生したリステリア（*Listeria monocytogenes*）感染アウトブレイク（2024年11月21日付最終更新）

[【カナダ公衆衛生局（PHAC）】](#)

1. 公衆衛生通知：回収対象の冷蔵植物性飲料に関連して発生したリステリア（*Listeria monocytogenes*）感染アウトブレイク（2024年10月11日付最終更新）

[【欧州疾病予防管理センター（ECDC）】](#)

1. 公衆衛生のための欧州連合リファレンス検査機関（EURL）として最初に指定された6機関が稼働

[【欧州委員会健康・食品安全総局（EC DG-SANTE）】](#)

1. 食品および飼料に関する早期警告システム（RASFF：Rapid Alert System for Food and Feed）

[【アイルランド食品安全局（FSAI）】](#)

1. 2024年にアイルランドの食品事業者に発出された規制措置の執行命令は計133件

[【ProMED-mail】](#)

1. コレラ、下痢、赤痢最新情報（32）（31）（30）（29）（28）（27）（26）（25）（24）（22）

【各国政府機関】

- 米国疾病予防管理センター (US CDC: Centers for Disease Control and Prevention)

<https://www.cdc.gov/>

1. 小規模飼育の家禽類との接触に関連して複数州にわたり発生したサルモネラ (*Salmonella* Altona、*S. Cerro*、*S. Enteritidis*、*S. Indiana*、*S. Infantis*、*S. Johannesburg*、*S. Mbandaka*、*S. Typhimurium*) 感染アウトブレイク (2024年10月22日付最終更新)

Salmonella Outbreak Linked to Backyard Poultry -May 2024

October 22, 2024

<https://www.cdc.gov/salmonella/outbreaks/backyardpoultry-05-24/index.html>

<https://www.cdc.gov/salmonella/outbreaks/backyardpoultry-05-24/investigation.html>

(Investigation Update)

<https://www.cdc.gov/salmonella/outbreaks/backyardpoultry-05-24/locations.html>

(Locations)

<https://www.cdc.gov/salmonella/outbreaks/backyardpoultry-05-24/timeline.html>

(Timeline)

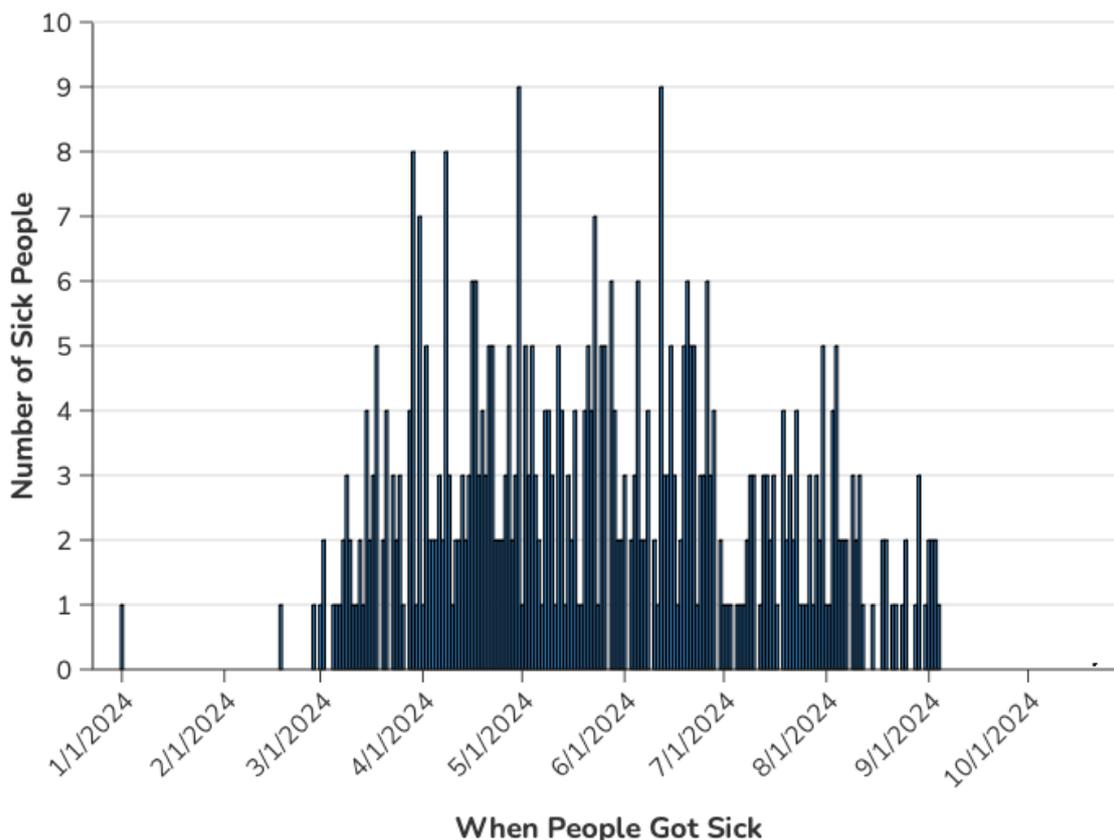
米国疾病予防管理センター (US CDC) および複数州の公衆衛生当局は、複数州にわたり発生したサルモネラ (*Salmonella* Altona、*S. Cerro*、*S. Enteritidis*、*S. Indiana*、*S. Infantis*、*S. Johannesburg*、*S. Mbandaka*、*S. Typhimurium*) 感染アウトブレイクを調査するため様々なデータを収集した。

疫学・追跡調査および検査機関での検査によるデータは、本アウトブレイクの患者が小規模飼育の家禽類との接触により感染したことを示している。

○ 疫学データ

2024年10月22日までに、サルモネラ (*S. Altona*、*S. Cerro*、*S. Enteritidis*、*S. Indiana*、*S. Infantis*、*S. Johannesburg*、*S. Mbandaka*、*S. Typhimurium*) アウトブレイク株のいずれかに感染した患者が48州から計470人報告された (図1)。患者の発症日は2024年1月1日～9月4日であった (図2)。情報が得られた患者378人のうち125人 (33%) が入院した。ミネソタ州から死亡者1人が報告された。

図 2：サルモネラ (*Salmonella* Altona、*S. Cerro*、*S. Enteritidis*、*S. Indiana*、*S. Infantis*、*S. Johannesburg*、*S. Mbandaka*、*S. Typhimurium*) 感染アウトブレイクの発症日別患者数 (2024 年 10 月 22 日時点の計 470 人)



公衆衛生当局は、患者の年齢・人種・民族・その他の人口統計学的特徴、および患者が発症前 1 週間に接触した動物など、患者に関する様々な情報を多数収集した。これらの情報は、本アウトブレイク調査で感染源を特定するための手掛かりとなった。

本アウトブレイクの患者について得られた人口統計学的情報は以下の通りである (n は当該情報が得られた患者の数)。

年齢 (n=469)	年齢範囲：1 歳未満～93 歳 年齢中央値：37 歳 5 歳未満：25%
性別 (n=466)	56%：女性 44%：男性

人種* (n=351)	94%：白人 2%：アフリカ系アメリカ人または黒人 2%：アメリカ先住民またはアラスカ先住民 1%：アジア系 1%未満：ハワイ先住民またはその他の太平洋諸島の住民 1%：複数の人種
民族 (n=349)	84%：非ヒスパニック系 16%：ヒスパニック系

* 四捨五入により合計値は 100%になっていない。

各州・地域の公衆衛生当局は、患者が発症前 1 週間に接触した動物に関する聞き取り調査を行った。聞き取りが実施された患者 330 人のうち 217 人（66%）が小規模飼育の家禽類との接触を報告した。

○ 追跡調査によるデータ

情報が得られた患者 181 人のうち 92 人（51%）が、発症前に家禽類を購入または入手していたことを報告した。患者はこれらの家禽類の入手先として、小売店、孵化場、地元の農場、フリーマーケット、友人または親戚を報告した。患者が購入場所として報告した小売店には複数の孵化場が家禽類を供給していた。本アウトブレイクのすべての患者に共通する単一の供給業者は特定されなかった。

○ 検査機関での検査データ

本アウトブレイクの公衆衛生調査では、アウトブレイク患者を特定するために PulseNet（食品由来疾患サーベイランスのための分子生物学的サブタイピングネットワーク）のシステムを利用した。CDC の PulseNet 部門は、胃腸疾患の原因菌の DNA フィンガープリントの国内データベースを管理している。原因菌の分離株には WGS（全ゲノムシーケンシング）法により DNA フィンガープリンティングが行われる。WGS 解析により、本アウトブレイクの患者由来サルモネラ分離株がそれぞれ遺伝学的に相互に近縁であることが示された。この結果は、本アウトブレイクの患者が同じ種類の動物から感染した可能性が高いことを意味している。

ミネソタ、オハイオ、テネシー、ユタおよびウィスコンシンの各州で実施された調査において、家禽類由来検体、および孵化場から小売店舗に家禽類が出荷される際に使用された輸送箱内部からの検体（中敷き、敷き藁など）が採取された。WGS 解析により、これらの検体から分離された *S. Altona* 株、*S. Cerro* 株、*S. Mbandaka* 株および *S. Enteritidis* 株が、各血清型の患者由来検体から分離された株とそれぞれ同一であることが示された。

WGS 解析の結果、患者由来 405 検体、環境由来 49 検体および家禽由来 1 検体から分離

されたサルモネラ株については抗生物質耐性の存在は予測されなかったが、別の患者由来 61 検体および環境由来 3 検体では、アモキシシリン／クラバン酸 (0.4%)、アンピシリン (0.8%)、セフォキシチン (0.4%)、セフトロフル (0.6%)、セフトリアキソン (0.6%)、クロラムフェニコール (0.2%)、ゲンタマイシン (1.9%)、カナマイシン (0.2%)、ナリジクス酸 (8.3%)、ストレプトマイシン (1.9%)、スルフィソキサゾール (1.5%) およびテトラサイクリン (2.1%) のうちの 1 種類以上の抗生物質への耐性、ならびにシプロフロキサシンへの非感受性 (8.5%) が予測された。シプロフロキサシンへの非感受性が予測された患者由来 41 検体および環境由来 2 検体から得られた分離株は、鶏由来検体からも分離された *S. Enteritidis* 株 1 株に関連していた。サルモネラ症患者のほとんどは抗生物質を使用せずに回復する。しかし、抗生物質が必要になった場合、本アウトブレイクの一部の患者については、一般的に推奨される抗生物質による治療が困難になる可能性があり、別の抗生物質の選択が必要になることがある。抗生物質耐性に関する詳細情報は、CDC の全米抗菌剤耐性モニタリングシステム (NARMS) の以下の Web ページから入手可能である。

<https://www.cdc.gov/narms/index.html>

○ 公衆衛生上の措置

本アウトブレイクは終息している。CDC は、小規模飼育の家禽類を取り扱う際に健康被害を防ぐための衛生手順 (以下 Web ページ参照) を遵守するよう繰り返し注意喚起を行っている。

<https://www.cdc.gov/healthy-pets/about/backyard-poultry.html>

CDC および州の当局は家禽類を販売する孵化場や小売店と協力し、家禽類を初めて所有する人への啓発およびサルモネラの拡散防止に取り組んでいる。

(食品安全情報 (微生物) No.19/2024 (2024.09.18)、No.14/2024 (2024.07.10)、No.11/2024 (2024.05.29) US CDC 記事参照)

2. デリカウンターで薄切りされた食肉製品に関連して複数州にわたり発生したリステリア (*Listeria monocytogenes*) 感染アウトブレイク (2024 年 11 月 21 日付最終更新)

Listeria Outbreak Linked to Meats Sliced at Delis

November 21, 2024

<https://www.cdc.gov/listeria/outbreaks/delimeats-7-24/index.html>

<https://www.cdc.gov/listeria/outbreaks/delimeats-7-24/investigation.html> (Investigation Update)

<https://www.cdc.gov/listeria/outbreaks/delimeats-7-24/locations.html> (Locations)

<https://www.cdc.gov/listeria/outbreaks/delimeats-7-24/timeline.html> (Timeline)

米国疾病予防管理センター（US CDC）、複数州の公衆衛生・食品規制当局および米国農務省食品安全検査局（USDA FSIS）は、複数州にわたり発生したリステリア（*Listeria monocytogenes*）感染アウトブレイクを調査するため様々なデータを収集した。

疫学・追跡調査および検査機関での検査によるデータは、Boar's Head ブランドのレバーソーセージなど、デリカカウンターで薄切りされた食肉製品がリステリアに汚染されており、本アウトブレイクの感染源となったことを示している。

○ 疫学データ

L. monocytogenes アウトブレイク株感染患者は、2024年9月25日付更新情報以降に新たに2人報告され、2024年11月19日までに19州からの計61人となっている（図1）。患者由来検体は2024年5月29日～9月13日に採取された（図2）。情報が得られた患者61人のうち60人が入院した。患者1人が妊娠中に感染したが回復し、妊娠は維持された。死亡者は計10人が報告され、州別内訳は、イリノイ（1人）、ニュージャージー（1）、ニューヨーク（2）、バージニア（1）、フロリダ（1）、テネシー（1）、ニューメキシコ（1）、およびサウスカロライナ（2）であった。

図1：リステリア（*Listeria monocytogenes*）感染アウトブレイクの居住州別患者数（2024年11月19日時点の計61人）

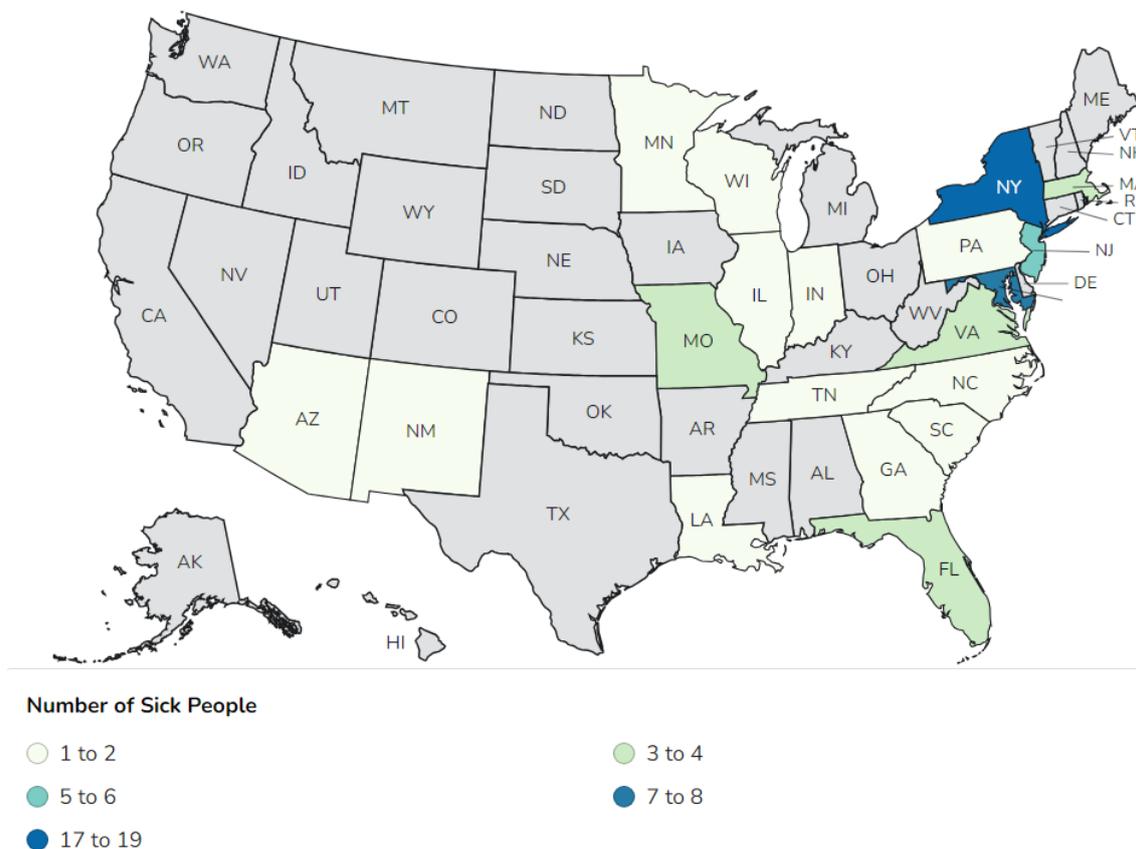
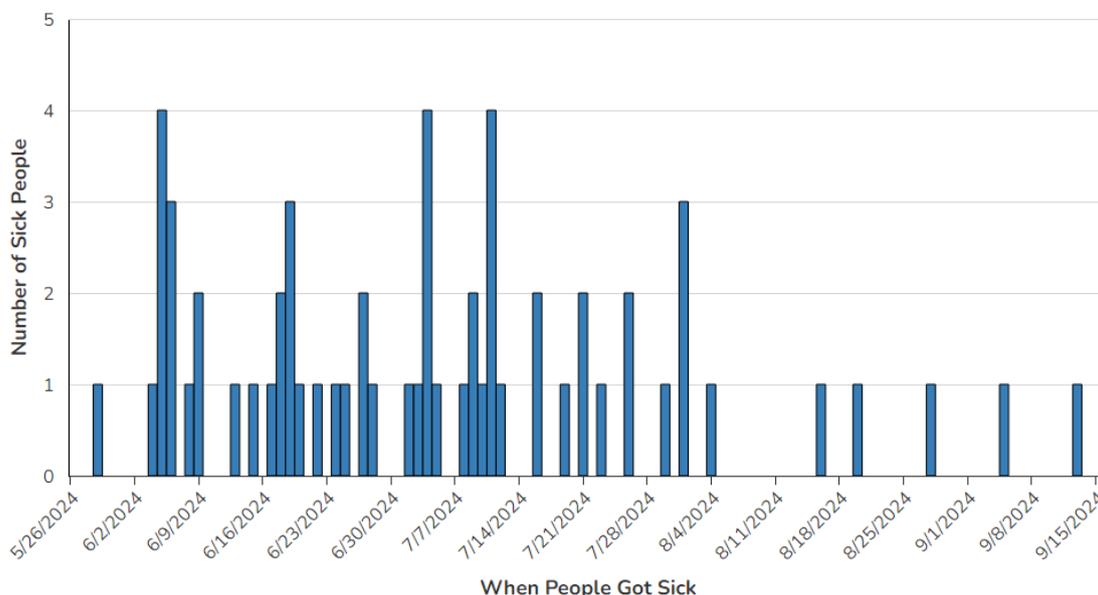


図 2：リステリア (*Listeria monocytogenes*) 感染アウトブレイクの発症日別患者数 (2024 年 11 月 19 日時点の計 61 人)



公衆衛生当局は、患者の年齢・人種・民族・その他の人口統計学的特徴、および患者が発症前 1 カ月間に喫食した食品など、患者に関する様々な情報を多数収集した。これらの情報は、本アウトブレイク調査で感染源を特定するための手掛かりとなった。

本アウトブレイクの患者について得られた人口統計学的情報は以下の通りである (n は当該情報が得られた患者の数)。

年齢 (n=61)	年齢範囲：32～95 歳 年齢中央値：78 歳
性別 (n=61)	49%：女性 51%：男性
人種 (n=56)	78%：白人 16%：アフリカ系アメリカ人または黒人 3%：アジア系 3%：その他
民族 (n=52)	94%：非ヒスパニック系 6%：ヒスパニック系

各州・地域の公衆衛生当局は、患者が発症前 1 カ月間に喫食した食品に関する聞き取り調査を行った。患者は、デリカカウンターで薄切りされた様々な食肉製品の喫食を報告した。聞き取りが可能であった患者 48 人のうち 45 人 (94%) がデリミートの喫食を報告した。

この 45 人のうち 43 人 (96%) は、喫食したデリミートがデリカウンターで薄切りされたものであったことを報告した。レバーソーセージの喫食に関する質問に回答した患者 44 人のうち、27 人 (61%) がデリカウンターで薄切りされたレバーソーセージの喫食を報告し、20 人は喫食したレバーソーセージのブランド名が **Boar's Head** であったことを報告した。これらのデリミートは、様々なスーパーマーケットおよび食料品店のデリで薄切りされていた。

○ 公衆衛生上の措置

本アウトブレイクは終息しているが、CDC は、妊婦、65 歳以上の人および免疫機能が低下している人に対し、デリミートの喫食を避けるか喫食前に加熱するよう、繰り返し助言を行っている。

2024 年 7 月、Boar's Head 社は、包装済みデリ製品、そのまま喫食可能な (ready-to-eat) レバーソーセージ製品など、同社施設 (バージニア州 Jarratt) で製造されたすべてのデリ製品について、*L. monocytogenes* 汚染のため回収を開始した。これらの製品は品質保持期限が過ぎている。

(食品安全情報 (微生物) No.21/2024 (2024.10.16) 、No.19/2024 (2024.09.18) 、No.17/2024 (2024.08.21) 、No.16/2024 (2024.08.07) 、No.15/2024 (2024.07.24) US CDC 記事参照)

● カナダ公衆衛生局 (PHAC: Public Health Agency of Canada)

<https://health.canada.ca/index-phac-aspc.php>

公衆衛生通知：回収対象の冷蔵植物性飲料に関連して発生したリステリア (*Listeria monocytogenes*) 感染アウトブレイク (2024 年 10 月 11 日付最終更新)

Public Health Notice: Outbreak of *Listeria* infections linked to recalled plant-based refrigerated beverages

October 11, 2024: Final Notice

<https://www.canada.ca/en/public-health/services/public-health-notices/2024/outbreak-listeria-infections-recalled-refrigerated-plant-based-beverages.html>

回収対象製品となっている冷蔵植物性飲料に関連して複数州にわたり発生したリステリア (*Listeria monocytogenes*) 感染アウトブレイクは終息したとみられ、アウトブレイク調

査が終了したことを受け、カナダ公衆衛生局（PHAC）は公衆衛生通知の最終更新を発表した。

○ 調査の概要

本アウトブレイクに関連して検査機関で *L. monocytogenes* 感染が確定した患者が 4 州から計 20 人報告され、州別の内訳は、アルバータ（1 人）、オンタリオ（13）、ケベック（5）およびノバスコシア（1）であった。

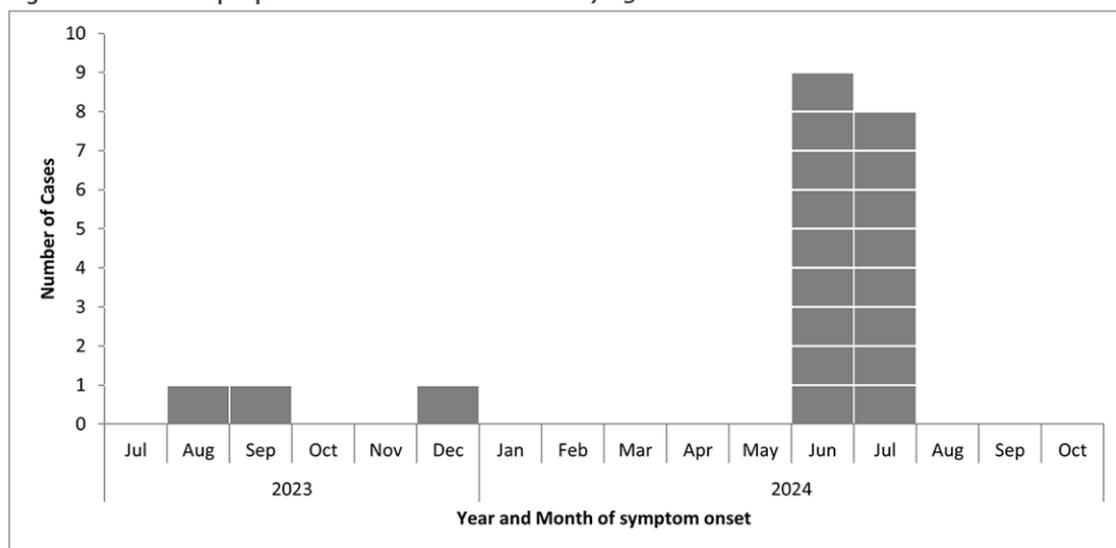
調査結果にもとづき、Silk and Great Value 社製の冷蔵植物性飲料が本アウトブレイクの感染源である可能性が高いことが特定された。

2024 年 7 月 8 日、Silk and Great Value ブランドの様々な冷蔵植物性飲料に関する食品回収警報 1 件が発出された（以下 Web ページ参照）。対象製品の最新の賞味期限は 2024 年 10 月 4 日である。

<https://recalls-rappels.canada.ca/en/alert-recall/various-silk-and-great-value-brand-plant-based-refrigerated-beverages-recalled-due#tablefield-node-75799-field-affected-products-0>

図 1：リステリア（*Listeria monocytogenes*）感染アウトブレイクの月別患者数（2024 年 10 月 11 日時点の計 20 人）

Figure 1. Number of people infected with *Listeria monocytogenes*



患者の発症日は 2023 年 8 月～2024 年 7 月中旬であった（図 1）。報告患者のうち、15 人が入院し 3 人が死亡した。患者の多くが、回収対象の植物性飲料を発症前に喫飲していたことを報告した。

食品安全調査において、Silk and Great Value 社およびカナダ食品検査庁（CFIA）によ

り、食品検体および環境検体が採取された。その結果、製造環境由来検体から *L. monocytogenes* アウトブレイク株が検出されたが、製造環境における汚染源は特定できなかった。

この結果を受け、当該施設では全ての製品の製造が停止されており、製造ラインの解体および施設の改装が進められている。安全・製造手順の改善などの必要な改善措置が講じられ、かつ汚染が完全に除去されたことを CFIA が確認するまで、当該施設での製造は再開されない予定である。

(食品安全情報(微生物) No.17/2024 (2024.08.21)、No.15/2024 (2024.07.24) PHAC 記事参照)

● 欧州疾病予防管理センター (ECDC: European Centre for Disease Prevention and Control)

<https://www.ecdc.europa.eu/>

公衆衛生のための欧州連合リファレンス検査機関 (EURL) として最初に指定された 6 機関が稼働

The first six EU reference laboratories for public health are now operational

9 Jan 2025

<https://www.ecdc.europa.eu/en/news-events/first-six-eu-reference-laboratories-public-health-are-now-operational>

国境を越える重大な健康脅威における欧州連合 (EU) の対策強化を目的として、公衆衛生のための欧州連合リファレンス検査機関 (EURL) が指定されている。最初に指定された 6 機関が 2025 年 1 月 1 日から稼働しており、以後 7 年間にわたり活動する予定である。

これらの検査機関は、感染症アウトブレイクに対する EU の準備態勢を向上させ、発生した際に迅速な検出および対応を確実にを行うため、EU 全域の専門知識を統合したコンソーシアムを構成する。

これらの 6 機関は以下の分野を対象としている。

- ・ 細菌の抗菌剤耐性
- ・ ベクター媒介性ウイルス病原体
- ・ げっ歯類由来の新興人獣共通感染性ウイルス病原体
- ・ 高リスクな新興人獣共通感染性の細菌病原体

- ・ レジオネラ菌
- ・ ジフテリアおよび百日咳

また、これらの検査機関は、EU 全域で行われる検査についてデータの比較可能性および検査能力を向上させることで、各国の公衆衛生検査機関を支援する。支援には、疾患のサーベイランス・届け出・報告に使用される診断法および検査法を統一させる取り組みが含まれる。

「Regulation 2022/2371 on Serious Cross-Border Threats to Health (国境を越える重大な健康脅威に関する規則 2022/2371)」において、公衆衛生のための欧州のリファレンス検査機関の指定および施行が法的に義務付けられた。このため、「施行に関する EU 規則 (Implementing Regulation) 2024/892」によって、欧州委員会 (EC) は 2024 年 3 月に公衆衛生のための EURL として最初の 6 機関を指定した。2024 年 11 月には、「施行に関する EU 規則 2024/2959」によってさらに 3 機関が指定された。公衆衛生のためのこれら EURL のネットワークは、欧州疾病予防管理センター (ECDC) によって運営され、統括される。

(関連記事)

欧州委員会 (EC)

公衆衛生のため欧州連合リファレンス検査機関 (EURL)

EU Reference Laboratories for public health

https://health.ec.europa.eu/health-security-and-infectious-diseases/surveillance-and-early-warning/eu-reference-laboratories-public-health_en

(食品安全情報 (微生物) No.6 / 2025 (2025.03.19)、No.23 / 2024 (2024.11.13) SSI 記事参照)

● 欧州委員会健康・食品安全総局 (EC DG-SANTE: Directorate-General for Health and Food Safety)

https://commission.europa.eu/about-european-commission/departments-and-executive-agencies/health-and-food-safety_en

食品および飼料に関する早期警告システム (RASFF : Rapid Alert System for Food and Feed)

https://food.ec.europa.eu/safety/rasff_en

RASFF Portal Database

<https://webgate.ec.europa.eu/rasff-window/screen/search>

Notifications list

<https://webgate.ec.europa.eu/rasff-window/screen/list>

2025年3月25日～4月7日の主な通知内容

警報通知 (Alert Notification)

ポーランド産（スロバキア経由）冷凍丸鶏のサルモネラ（*S. Enteritidis*）、ドイツ産ミルクチョコレート（*S. Enteritidis*）、ポーランド産鶏肉のサルモネラ（*S. Enteritidis*）、チェコ産乾燥豚腸（ドッグフード）のサルモネラ（*S. Typhimurium*）、ラトビア産ミックスサラダ／スムージーのサルモネラ属菌、ベルギー産の生乳チーズのリストeria（*L. monocytogenes*）、ドイツ産冷凍鶏肉のサルモネラ（*S. Enteritidis*）、エジプト産乾燥マジヨラムのサルモネラ属菌、ベルギー・ポーランド産冷凍生薄切り鶏肉（カレーマリネ液漬け）のサルモネラ属菌、ポーランド産冷凍チキンケバブのサルモネラ（*S. Haifa*）、ドイツ・ポーランド産鶏肉のサルモネラ（*S. Enteritidis*）、スペイン産食肉製品のサルモネラ、ウガンダ産（オランダ・ドイツ経由）有機ブラックチアシードのサルモネラなど。

注意喚起情報 (Information Notification for Attention)

トルコ産乾燥ローズマリーのサルモネラ属菌、ポーランド産鶏四分体肉のサルモネラ（*S. Enteritidis*（1/5 検体陽性）、*S. Infantis*（3/5 検体陽性））、リトアニア産温燻ポークハムのリストeria（*L. monocytogenes*）、オランダ産有機スプラウトのサルモネラ（*S. enterica*）、ポーランド産七面鳥肉のサルモネラ（*S. Typhimurium*）、ハンガリー産サラミのカビ、フランス産（オランダ経由）牡蠣のノロウイルス、ポーランド産家禽首皮のサルモネラ（*S. Enteritidis*）、ルーマニア産鶏手羽肉のサルモネラ属菌、インド産キチン（飼料原料）のサルモネラ（*S. Typhimurium*）、アイルランド産牡蠣のノロウイルス、フランス産冷蔵牡蠣のノロウイルス、オランダ産の生鮮鶏肉のサルモネラ（*S. Enteritidis*）、ポーランド産鶏もも肉のサルモネラ属菌など。

フォローアップ喚起情報 (Information Notification for follow-up)

ポーランド産家禽肉のサルモネラ（*S. Kottbus*）、ブラジル産（オランダ経由）冷凍鶏むね肉（骨なし）のサルモネラ属菌、ギリシャ産パーチ（スズキ目の魚）の寄生虫、フランス産ジャガイモ繊維（飼料原料）のボツリヌス菌、オーストリア産コーングルテンのサルモネラ、

オランダ産豚肉のサルモネラ、アイスランド産タラ肝臓のアニサキス属、フランス産牡蠣のノロウイルス、中国産（オーストリア経由）アンコウの微胞子虫、ドイツ産菜種搾油粕のサルモネラ（*S. Livingstone*）、イタリア産七面鳥ミール（加工動物タンパク質）のサルモネラ（*S. Schwarzengrund*）など。

通関拒否通知（Border Rejection Notification）

インド産白ゴマ種子のサルモネラ属菌、英国産加工動物タンパク質（家禽ミール）のサルモネラ、ナイジェリア産ゴマ種子のサルモネラ属菌、ブラジル産冷凍塩漬け鶏むね肉（半身）のサルモネラ属菌など。

● アイルランド食品安全局（FSAI: Food Safety Authority of Ireland）

<https://www.fsai.ie/>

2024年にアイルランドの食品事業者に発出された規制措置の執行命令は計133件

133 Enforcement Orders served on food businesses in 2024

09 JANUARY 2025

<https://www.fsai.ie/news-and-alerts/latest-news/133-enforcement-orders-served-on-food-businesses-i>

アイルランド食品安全局（FSAI）は、2024年に食品事業者の食品安全法違反に対し発出された規制措置の執行命令が計133件であり、2023年の92件より45%増加したと発表した。FSAIは強固な食品安全管理システムの重要性を説明し、安全に喫食できる食品を製造・提供・販売するための従業員の適切な教育の徹底、および有害生物対策が十分に清潔な食品関連施設の維持に関する法的責任は食品事業者にあることを強調している。

上記の執行命令133件は、保健サービス局（HSE）の環境衛生監視員、海洋漁業保護局（SFPA）の担当官、および農業食糧海洋省（DAFM）の検査官により、2024年1月1日～12月31日にアイルランド全域の食品事業者の食品安全法違反に対して発出され、このうち115件は閉鎖命令、16件は禁止命令、2件は改善命令であった。一部の事業者において、「有害生物対策の手順が定められていない」、「定期的かつ徹底した清掃が不十分である」、「食品の適正な温度管理の不遵守」、「不適当な施設での食品の保管」、「食品安全・衛生に関連した従業員教育が不十分である」などの食品安全問題が繰り返し認められ、執行命令の発出につながった。

● ProMED-mail (The Program for Monitoring Emerging Diseases)

<https://promedmail.org>

コレラ、下痢、赤痢最新情報 (32) (31) (30) (29) (28) (27) (26) (25) (24) (22)

Cholera, diarrhea & dysentery update (32) (31) (30) (29) (28) (27) (26) (25) (24) (22)

7, 4, 2 April 2025 & 30, 27, 26, 25 March 2025

コレラ

国名	報告日	発生場所	期間	患者数	死亡者数
ケニア	4/5	以下の3郡		計69	計5
		(ミゴリ郡)		43	1
		(キスム郡)		15	3
		(ナイロビ郡)		11	1
南スーダン	4/4	ワラブ州 Gogrial West 郡	2025年2月17日～ 4月初旬	計1,000以上	25以上
		ワラブ州 Twic 郡	2025年2月17日～ 4月1日	1	
		ワラブ州 Gogrial East 郡	2025年2月17日～ 4月1日	10	3
	4/3	ジョングレイ州の Lankien および Akobo	約2週間	300以上	
		全国	2025年3月初旬～	1,000以上	
	3/25	大ピボール行政区 (GPAA)	2025年3月23日発 表	(死亡者含 む)888	155
エチオピア	4/3	ガンベラ州3地域*	2025年3月初旬～	560以上	
	4/1	複数地域**	2025年2月初旬～3 月8日	1,320	29
アンゴラ	3/28	16州	2025年1月～3月 23日***	8,543	329

ナイジェリア	3/26	22 州	2025 年 1 月 27 日～ 2 月 2 日	(疑い)886	14
ハイチ	3/21	全国	2025 年初め～	(確定)4 (疑い)900 以上	
コンゴ民主 共和国	3/20	南キブ州のウヴィラ 地区	2025 年第 9 週 (2 月 末からの 1 週間)	65	2
			アウトブレイク発生 ～2025 年 2 月 18 日	118	2

* Mattar、Moan、Burbeiye

** Nuer 県の 4 地区で発生し、Wantawo、Akobo、および 4 カ所の難民キャンプに拡大。

*** 2025 年 1 月 1 日～3 月 23 日に WHO の地域分類 3 地域にまたがる 24 カ国からコレラ患者 93,172 人、死亡者 1,197 人が報告され、このうちアフリカ地域からの報告数が最多 (18 カ国からの 55,622 人)。

食品微生物情報

連絡先：安全情報部第二室